

## 第 11 節 交流等について

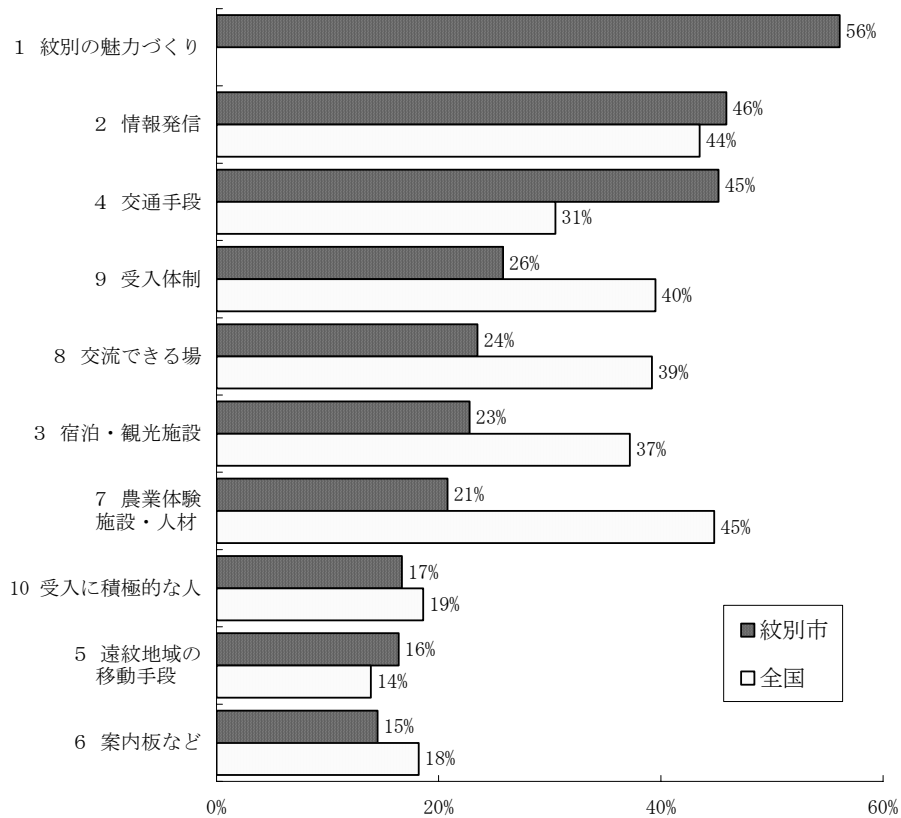
問 32 紋別市に都市住民がもっと訪れて滞在する機会を増やすにはどうすれば良いと思いますか。【〇はいくつでも】

	問 2 年齢（再区分）						合計	
	10～30 歳代		40・50 歳代		60 歳以上			
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 紋別の魅力づくり	171	63.3%	233	56.7%	229	52.3%	643	56.1%
2 都市住民に紋別の魅力が伝わるように効果的に情報を発信する	104	38.5%	191	46.5%	218	49.8%	526	45.9%
3 宿泊施設や観光施設を増やす	82	30.4%	90	21.9%	85	19.4%	261	22.8%
4 紋別に来るまでの交通手段を便利にする	150	55.6%	176	42.8%	183	41.8%	518	45.2%
5 遠紋地域内での移動手段を確保する	55	20.4%	68	16.5%	62	14.2%	188	16.4%
6 遠紋地域内での案内板などを整備する	27	10.0%	50	12.2%	83	18.9%	166	14.5%
7 農作業などを体験できる施設や指導できる人材を増やす	62	23.0%	86	20.9%	80	18.3%	239	20.8%
8 市民と都市住民が交流できる場を提供する	51	18.9%	98	23.8%	115	26.3%	269	23.5%
9 地域ぐるみで協力し合い受入体制の整備を図る	55	20.4%	105	25.5%	126	28.8%	296	25.8%
10 都市住民の受入に積極的な人を増やす	44	16.3%	63	15.3%	80	18.3%	192	16.7%
11 その他	26	9.6%	18	4.4%	8	1.8%	52	4.5%
12 特にない	6	2.2%	7	1.7%	3	0.7%	16	1.4%
13 わからない	7	2.6%	10	2.4%	24	5.5%	44	3.8%
無回答	6	2.2%	13	3.2%	35	8.0%	57	5.0%
合計	270	100.0%	411	100.0%	438	100.0%	1,147	100.0%

「都市住民がもっと本市を訪れて滞在する機会を増やす方策」については、「紋別の魅力づくり」が56%で最も割合が高く、次いで「情報発信」が46%、「交通手段」が45%などとなっています。

国の「都市と農山漁村の共生・対流に関する世論調査（平成17年11月）」と比較すると、「交通手段」において本市の調査の回答割合が全国平均より高く、「受入体制」、「交流できる場」、「宿泊・観光施設」、「農業体験施設・人材」では低くなっています。なお、本市の調査では、世論調査にはなかった「紋別の魅力づくり」という選択肢を加えています。

都市住民がもっと本市を訪れて滞在する機会を増やす方策（割合が高い順に掲載）



問33 都市住民が紋別市に定住する際の問題点は何だと思いますか。【〇はいくつでも】

	問4 居住年数						合計	
	5年未満		5～14年		15年以上		人数	割合
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
1 都市住民が定住するための仕事がない	86	77.5%	76	75.2%	746	82.8%	934	81.4%
2 地域内での移動のための交通手段が不便	45	40.5%	36	35.6%	288	32.0%	378	33.0%
3 医療機関（施設）が少ない	89	80.2%	76	75.2%	599	66.5%	783	68.3%
4 買い物、娯楽などの生活施設が少ない	67	60.4%	49	48.5%	319	35.4%	443	38.6%
5 都市住民を受け入れるサポート体制が整備されていない	26	23.4%	37	36.6%	338	37.5%	414	36.1%
6 地域住民が都市住民の受け入れに消極的	18	16.2%	21	20.8%	157	17.4%	202	17.6%
7 地域の調和が崩れる	1	0.9%	1	1.0%	18	2.0%	23	2.0%
8 近所に干渉されプライバシーが保てないと都市住民が思う	7	6.3%	13	12.9%	66	7.3%	89	7.8%
9 特に問題はないと思う	4	3.6%	2	2.0%	30	3.3%	37	3.2%
10 その他	8	7.2%	4	4.0%	20	2.2%	33	2.9%
11 わからない	1	0.9%	1	1.0%	24	2.7%	28	2.4%
無回答	1	0.9%	1	1.0%	34	3.8%	40	3.5%
合計	111	100.0%	101	100.0%	901	100.0%	1,147	100.0%

※居住年数が無回答の方は表記していない。

「都市住民が紋別市に定住する際の問題点」については、「都市住民が定住するための仕事がない」が81%で最も割合が高く、次いで「医療機関が少ない」が68%、「買い物、娯楽などの生活施設が少ない」が39%などとなっています。

このうち、「医療機関が少ない」や「買い物、娯楽などの生活施設が少ない」では、居住年数の少ない層ほど割合が高い傾向がみられます。

また、国の「都市と農山漁村の共生・対流に関する世論調査（平成17年11月）」と比較すると、多くの項目で、本市の調査の回答割合が全国平均を上回っています。

都市住民が紋別市に定住する際の問題点（割合が高い順に掲載）

